

次期総合計画策定に当たっての基本的な考え方（案）

令和7年5月

岡山市

本日ご議論、ご意見をいただきたいこと

- 次の10年、さらなる進化のため、岡山市に必要な視点は何か？
- 岡山のアイデンティティとは何か？
- 岡山市民の「愛着・誇り」は変わりつつあるのでは？
- 「誇れる」「憧れる」まちにするためには？

次期総合計画 全体コンセプト（案）

第六次総合計画

未来に躍動する
桃太郎のまち岡山

まちに変化を創出
総合力の向上



力強さ

住みやすさ

安全・安心



都市ブランドの確立
(愛着・誇りの醸成)

継承・発展

まちの進化に必要なものは？

- ◆「暮らしの質」の向上
- ◆「都市の成長、活力」の創出
- ◆「安全・安心」の充実

さらなる総合力の向上



◆「愛着・誇り」の醸成

・「愛着・誇り」や「認知度」は
指定都市比較で依然として低い状況

- ▷市民プライドランキング (H29)
愛着16位、誇り19位
- ▷地域ブランド調査(R6) 認知度19位

一方で、

- ▷おかやまマラソン、プロスポーツ等の盛り上がり
- ▷岡山城来館者数の過去最多更新
- ▷地域資源をいかして地元を盛り上げたいという地域の熱意の高まりなど

岡山が変わりつつあるのではないかな？

【時代潮流と市民ニーズ】

【時代潮流】

- ・人口減少・少子高齢化
- ・Well-beingへの関心の高まり
- ・価値観の変化(仕事→自分らしさ)
- ・デジタル技術の急速な進展 等

【市民ニーズ】

- ・賑わい・活気、まちへの誇り
- ・つながり、交流、共感、多様性、包摂性
- ・活躍支援、ワークライフバランスの確保
- ・まちの利便性、安全性 等

第七次総合計画

【将来都市像】（新コンセプト）

「幸せを感じられるまち」

より誇れる、憧れのまちへ

人中心のまちづくり

希望が叶う
活躍できる
つながる

多様な選択肢、
価値の提供

暮らしの質
の向上

都市の成長
活力の創出

愛着・誇りの醸成

「岡山」を

知り、共感し、
磨き上げる

自信を持って
国内外に発信

安全・安心の充実

策定の趣旨

- 岡山市第六次総合計画では、「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」をメインテーマとし、住みやすさに磨きをかけ、豊かな地域資源をいかしてまちに変化を創出させるべく、まちなかにおいては賑わいの拠点づくりや歩いて楽しいまちづくり、地域においては魅力と活力あふれる持続可能なまちづくりを進めるなど、あらゆる分野のレベルアップを図り、都市の総合力を高めてきた。
- 一方で、全国的に人口減少・少子高齢化や若者の大都市圏への転出超過等が加速する中、中四国のゲートウェイである岡山市には、今後、中枢拠点機能を一層強化し、経済成長や質の高い都市環境づくりにより大都市圏への人口流出を抑制しつつ、人口減少社会に適応した都市システムへの転換を図ることが求められる。
- また、成熟社会を迎え、価値観が多様化する中、市民誰もが自分らしく活躍でき、希望の叶う社会の実現に向けて、多様な交流による社会的なつながりの醸成、望まない孤独・孤立の防止や、包摂的で多様性に寛容な社会の構築など、より良い暮らしを心豊かに送るための環境づくりが重要となっている。あわせて、幸福度の高い暮らしの基礎となり、人の活躍や地域づくりの原動力となる「愛着と誇り」を醸成していくことが求められている。
- 加えて、地球規模で進む気候変動やそれらに起因する大規模自然災害、グローバル化する経済等への適切な対応、国内外での岡山市のプレゼンス向上など、視野を世界に広げた取組も求められる。そして、様々な課題に的確に対応するためには、急速に進化するデジタル技術をまちづくりに実装することが大きな鍵になる。
- これらの動向を踏まえると、岡山市における今後のまちづくりにおいては、市民を守る「安全・安心の充実」を土台に、指定都市や圏域の中核都市としての役割を踏まえた「都市の成長、活力の創出」、並びに市民の生活の場としての役割を踏まえた「暮らしの質の向上」の2本の柱を軸として、両者を好循環させながら、市民が幸せを実感できる人中心のまちづくりを進め、未来に向けて進化し続けるまちを目指していく必要がある。
- 市政を取り巻く状況が絶えず変化し続ける中で、岡山市がめざす理想のまちの姿を実現するためには、市民をはじめ多様な主体との協働が不可欠であり、まちの将来像を共有し、諸課題の解決に向けてともに考え、行動するための羅針盤として、新たな総合計画を令和7年度中に策定する。

次期総合計画策定に当たっての基本的な考え方（案）

計画の名称

- 「岡山市第七次総合計画」とし、副題も含めて今後検討する。

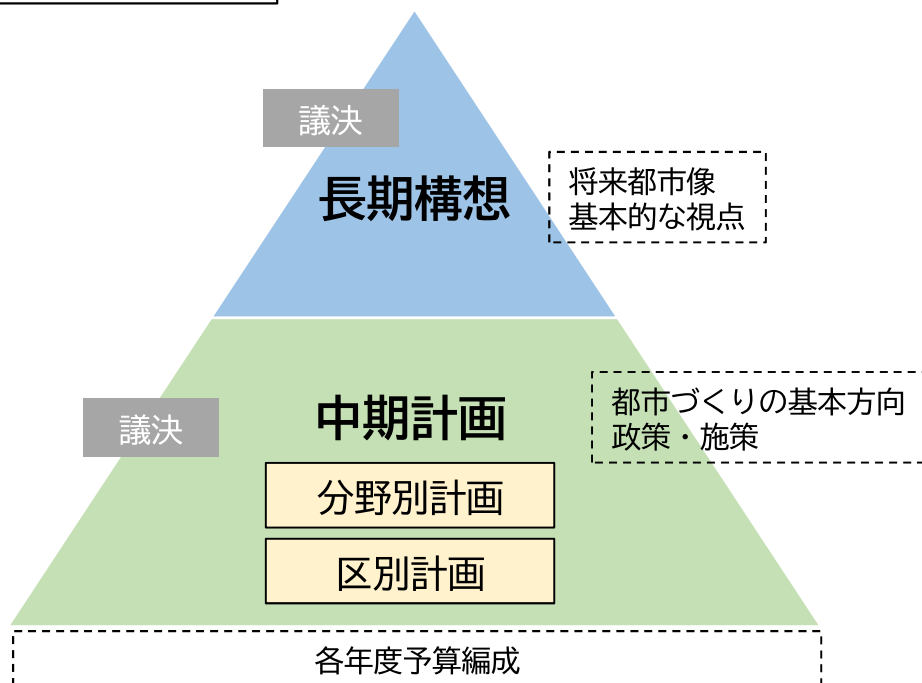
計画構成

- 長期構想、中期計画の2層構成とし、それぞれ、「市議会に議決すべき事件に関する条例」に規定する基本構想、基本計画として議会の議決を経るものとする。
 - (1) 長期構想
長期的な視点に立ち、岡山市の目指すまちの将来像や基本的な視点等を示す。
 - (2) 中期計画
長期構想を実現するための政策・施策の体系を整理し、政策分野別の目標や施策の方向性を示す。また、地域の特性を踏まえた地域づくりの基本的な方向性等を区別計画として示す。

計画期間

- 急激な社会変化にも適切に対応可能な実効性の高い計画とするため、長期構想10年、基本計画5年とする。

計画構成



計画期間



策定体制

(1) 基本政策審議会

- 「岡山市基本政策等に関する審議会設置条例」に基づき、学識経験者、市民などで構成する岡山市基本政策審議会において、次期総合計画の長期構想及び中期計画の分野別計画について諮問し、審議を経て、答申を受ける。

(2) 市民参加

- 次期総合計画への幅広い市民意見の反映を図るため、まちづくりワークショップや子どもアンケート等の意見を踏まえながら策定を進めるとともに、素案についてのパブリックコメントを行う。

計画の推進

- PDCAサイクルの考え方に基づき、中期計画において成果指標とその目標値を設定し、定期的に評価・検証する。
- 成果指標の設定にあたっては、客観的に判断できる数値を用いることを基本とし、進捗状況を的確に把握できる指標のあり方を検討する。
- 政策・施策レベルでの管理を行い、事務事業については毎年度の予算編成等によってその進捗を管理する。

留意すべき事項

(1) 市民にわかりやすい計画

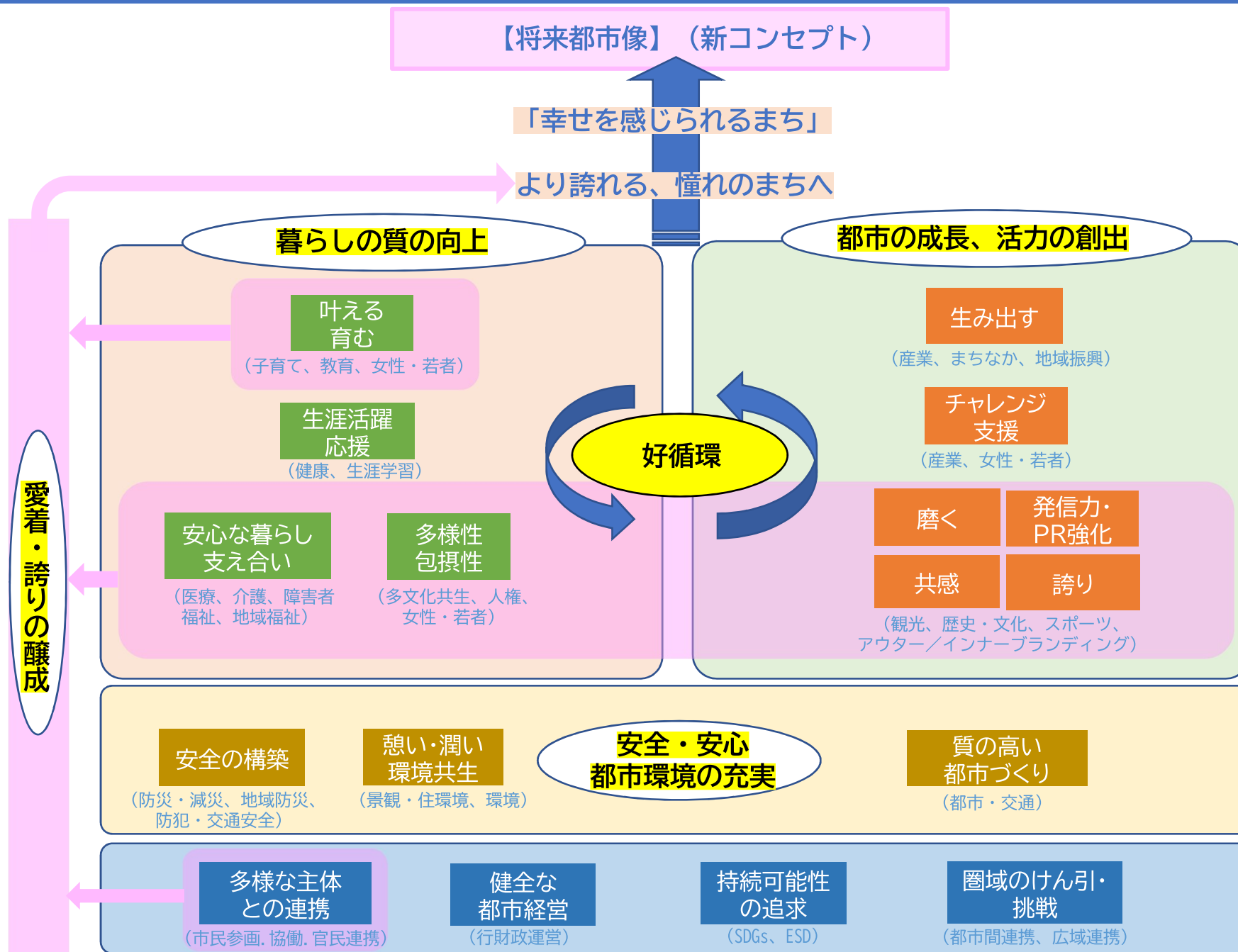
- 市民と目標を共有し、協働してまちづくりを進めるため、目指すまちの将来像やまちづくりの基本方向、各政策分野の重点事項等を簡潔に、わかりやすく示すよう努める。

(2) 個別計画との整合性の確保

- 各局区室が所管する個別計画については、必要に応じて改定するなど総合計画との整合性を確保する。

策定スケジュール

- 令和7年度中の策定に向けて策定作業を進める。
 - 令和7年5月 区のまちづくりワークショップ
5/10 北区（御津）、5/10 北区（建部）、5/11 北区（一宮）
5/24 東区（瀬戸）、5/25 南区（灘崎）
 - 令和7年5月26日 令和7年度第1回岡山市基本政策審議会
・ 諮問
・ 次期総合計画策定に当たっての基本的な考え方
 - 令和7年8月1日 令和7年度第2回岡山市基本政策審議会
・ 計画骨子案（構想原案）
・ 政策・施策体系（案）
・ 各政策分野の主な方向性
 - 令和7年11月頃 令和7年度第3回岡山市基本政策審議会
・ 素案（答申案）
 - 令和7年12月頃 パブリックコメント
 - 令和8年2月頃 議案提出
 - 令和8年3月 議決、策定



将来都市像	(新コンセプト)
基本的な視点	視点1【暮らしの質の向上】 視点2【都市の成長・活力の創出】 視点3【安全・安心の充実】 視点4【愛着と誇りの醸成】
都市づくりの基本方向	
基本方向1 こども・子育て・教育 (主な局室) 岡山っ子育成局、教育委員会、保健福祉局	(こども・子育て・教育) 【政策分野】 子育て、健全育成・自立、若者、学校教育、教育環境
基本方向2 協働・多様性 (主な局室) 市民協働局、教育委員会	(協働・多様性) 【政策分野】 協働、女性、国際、人権、生涯学習
基本方向3 健康・福祉 (主な局室) 保健福祉局	(健康・福祉) 【政策分野】 健康、医療・介護、福祉
基本方向4 産業・交流 (主な局室) 産業観光局、都市整備局、政策局	(産業・交流) 【政策分野】 産業、農林水産業、観光・交流、まちなか、地域振興
基本方向5 歴史・文化・スポーツ (主な局室) スポーツ文化局、教育委員会	(歴史・文化・スポーツ) 【政策分野】 歴史・文化、スポーツ
基本方向6 安全・安心 (主な局室) 危機管理室、市民協働局、下水道河川局、水道局	(安全・安心) 【政策分野】 防災・減災、地域防災、防犯・交通安全
基本方向7 都市・環境 (主な局室) 環境局、都市整備局	(都市・環境) 【政策分野】 都市計画、交通、景観・住環境、環境活動、脱炭素、循環型社会
都市経営 (主な局室) 市長公室、政策局、総務局、財政局	(都市経営) 【政策分野】 地方創生、行政体制、行財政運営、行財政改革推進プラン